

# 学校経営計画の策定

## 学校教育目標

### 未来社会を担う子

- よく考え 表現する子
- ◎豊かな心をもつ子
- たくましく鍛える子

自ら未来を切り拓き、①次代を担う児童の育成を目指すために、「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進し、グローバルな視点から②自他のよさ、多様性を認め合える資質や能力を自ら育てていけるようにする。道徳教育の充実を柱として③「豊かな心をもつ子」を今年度の重点目標とし、④自ら自他のよさを大切にできるように児童の育ちを支えていく。

＜目指す子ども像＞ 未来社会を担う子  
～自他を大切に、共によりよく生きようとする児童～

＜目指す学校像（教師像含）＞  
地域の風に行き交う学校～わたしたちの令和小～

## ＜教育目標のとらえ＞

### ①次代を担う児童の育成（未来社会を担う子）

→子どもをとりまく様々な存在（地域、保護者、関係諸機関、近所の人等）と連携・協働して子どもの育ちを支える。自分の生まれ育ったところ、暮らしているところ、将来過ごすところを大切に思い、貢献できる人材を育む。

### ②自他のよさ、多様性を認め合える資質や能力を自ら育てていけるようにする。

→個々の思いや願いを大事にする周囲の大人、わたしたちの人権感覚が子どもの人権感覚を育むであろうことを意識する。（言葉、呼び捨て、「さんづけ」、授業と休み時間の区別他）  
（いじめ予防、不登校対策、自殺予防等）

→子どもの思いや願いを受け止め、子どもの様々な発想を生かす視点を重視して指導に当たる。  
→「長所・短所」、「得手・不得手」、「得意・苦手」、「好き・嫌い」全て含めて、その子の存在自体が「よさ」と考える。

### ③豊かな心をもつ子を今年度の重点目標

→その子の抱えている見えにくいバックボーンまで含めてその子の心持ちを推し量り、その子の内面の育ちを重視する。

### ④自ら自他のよさを大切にできるように児童の育ちを支えていく。

→様々な教育活動での「ねらい」（第1）（例えば、教科のねらい）を明確にし、その上で人とかがわり合う場面での「ねらい」（第2）（例えば、内面の育ち・折り合い）等を常に意識しながら指導・支援に当たること、相手意識もって自他のよさを大切にして人間関係を自ら築けるようにする。

## <教育目標達成のための基本方針>

### (1) 学年学級専科経営の充実

居がい、やりがいのある集団を目指して、学年体制を活用し、教師自ら率先垂範の姿勢を大切にする。朝教室や玄関で迎え、あいさつをかわすことから始め、休み時間等の体制を学年で整え、きめ細やかな指導を実践する。地域、保護者への丁寧な説明を大切に連携協力を仰ぐ。

#### <よりよい学級づくり 学年・専科経営>を最大限重視

①子どもたちにとって、日本の初等教育の学級経営に勝るもの、未だ無し  
(言い過ぎかもしれないが…)

②わたしたち教職員の存在が子どもに与える効果の大きさを常に意識  
(子どもにとって最大の教育環境はその子の目の前の教師)

<具体的な言葉で言うと…(例)>

○学校生活の中で

→学校は「やりたくても やってはいけないことは やらないところ」→我慢  
学校は「やりたくなくても やらなければならないことは やるところ」→努力

○学校内外の様々なトラブルと大人のスタンス(教師も保護者も)

→「子どもを信じる」から「子どもはよりよくなるとうとする存在であることを信じる」へ

③子どもの願いに耳を傾け、生かす教育活動の推進(子どもに華を、子どもに手柄を)

→子どもの考えや思いを汲みながら、その発想を生かすアンテナをしっかり立てる。そのための情報共有を日常的、定期的に進める。

→計画されている教育活動であっても、子どもに考えを訊ねる場を設け、共に考える姿勢を大切にする。

→子どもの願いを「生かす」から、子どもの願いが「生きる」へ

### (2) よりよい授業づくり

授業改善に努め、年次研修、小教研等の機会を生かす。そのために教室を開き、教職員同士で切磋琢磨する。また、積極的に指導教諭模範授業等の外部研修に参加し、内外の情報をOJT還元研修として共有し、互いの授業改善に生かせるようにする。

### (3) 人権教育・道徳教育と道徳授業の充実

教師としての人権意識を高める中、豊かにかかわり合う(自他を大切にする)全教育活動と道徳授業との関連を意識しながら道徳授業を確実に実施する。校内研究を中心とした学びを通して質的な向上を更に図る。人権教育研修については毎月の危機管理点検や服務研修と連動して実施する。

### (4) 生活指導の充実

その子の背景(バックボーン)まで意識した、児童理解に努め、プラスに働く指導を実践する。特別支援教育と教育相談機能の強化を図る。そのために特別支援・個別支援について校務分掌上で新たな枠組みの定着を目指す。

#### (5) 相手意識のある特別活動

互いのかかわりを豊かに（自他を大切に）する体制づくりを行い、意見交流を通して、自分の行動やかかわりが他者のためになっていると感じられるようにする。加えて、「子どもの発想を生かす（発想が生きる）教育活動」の核となることを学校全体で意識する。

#### (6) 交流と連携の推進充実

互いのメリットを大切に、こだま学級と通常の学級の交流、保幼小中連携教育及び地域学習の充実に努め、生活科、総合的な学習の時間を中心に工夫改善した指導計画を確実に実施し、よりよいものを目指す。

#### (7) 数値目標と検証

PDCAサイクルに基づき、教育活動の常なる工夫改善を目指す。数値目標の設定、実施に当たっては基本的に現行のシステムを活用する。

#### (8) 危機管理意識を高める

予防の共通実践と対応システムを確立する。各対応研修と工夫改善を行う。きめ細やかな配慮のもと、対応を迅速、的確、誠実に行う。特に管理職への報告、初動対応並びに計画的な対応を重視する。

#### (9) 学校を内にも外にも開く

授業公開やHP、ボランティアの活用等を通して、授業を中心に日常の見えにくい部分を見せる。各教室、授業は基本的に常に関き、子どものよさや可能性を評価する場とする。さらに個別対応・支援の充実、教職員の研鑽にも活用する。

#### (10) 協働参画意識を高める

報告、連絡、相談はもとより、共通理解と共通実践を通して、情報共有を密にし、自らの協働意識を高める。

#### (11) 教育課題への対応

学校レガシー、カリキュラムマネジメント、GIGAスクール構想等への対応を具体的に進め、教育課程編成に生かす。キーワードとして「中野区子どもの権利に関する条例」、「令和の日本型教育（教師は子どもの伴走者）」を最大限重視する。

#### (12) 教育公務員としての責任と自覚

全体の奉仕者として、期待されていると同時に見られている仕事であることを意識して職務に当たる。サービス事故防止に努める。そのために毎月の安全点検日に危機管理点検を実施する。

#### (13) ライフワークバランスの重視

事務室を組織的に運営し、事務室と連動した校務改善を推進する。保護者・地域に対して教職員の働き方改革の推進を意識付ける。重点として私費会計の確実な処理、印刷配布物の削減、教務事務・庶務事務等のより一層の組織化とスリム化を進める。

＜具体的な方策と取組・成果指標案＞～数値目標は、最終的な学校経営計画で

## 1＜（知）確かな学力＞自他を大切に、進んで自らの考えを深めようとする児童

（1）授業と家庭学習、放課後学習等連動した学習支援が進んでいる。

＜方策1＞指導計画の見直しとカリキュラムマネジメントの継続実施

＜取組指標＞ ①：かかわり合う学習活動の工夫  
②：授業と家庭学習両面での「ミライシード」の活用による連動  
③：放課後学習の活用  
3項目充実→A 2項目→B 1項目→C（以下同様）

＜成果指標＞ 学校生活アンケート クラスの人と学び合って学習していますか？

（2）令和小スタイルの重点化と共通実践、授業の充実を核に学び合う児童が増加する。

＜方策2＞視点をもった観察授業、授業研究での話題と関連付け

＜取組指標＞ ①：学校重点（道徳教育）の視点をもった授業観察での授業  
（9月指導室訪問授業・12月小中連携教育協議会授業）  
②：外部講師招聘・OJT公開授業外部研修の情報提供等  
③：令和小スタイルの意識とそのよさの実感 ＜聴く・話す＞  
＜あいさつ、へんじ・あつまり・あとしまつ＞

＜成果指標＞ 学校生活アンケート 学習は楽しいですか？

## 2＜徳（豊かな人間性）＞自他を大切に、自分で自分を育てようとする

（1）生活指導、特別活動全体の工夫改善、特別支援教育、教育相談機能の充実等でいじめ、不登校他への対応が進んでいる。「中野区児童の権利に関する条例」の理解実践が進んでいる。

＜方策1＞生活指導、特別活動共通実践、ケア会議の組織化、各種アンケートの有効活用

＜取組指標＞ ①：いじめ防止研修継続実施と認知案件の継続的・定期的な聞き取り  
②：ケア会議の実施率・学校生活支援シートと個人面談、記録情報の共有  
③：安全教育としての情報モラル教育の継続

＜成果指標＞ いじめ案件の初動の組織的対応と解決スピード

（2）道徳授業を核に道徳教育を関連付けた心の教育が推進されている。

＜方策2＞道徳授業の質的向上とそのための財産の共有、道徳教育をもとにしたカリキュラムマネジメントの実施

＜取組指標＞ ①：基本的な指導過程を生かした「子どもが考えたい道徳授業」  
②：道徳教育、道徳授業の関連付けと指導計画工夫改善  
③：よりよい学級づくりの常なる意識

＜成果指標＞ 学校生活アンケート 学校の楽しさ 自他を大切に

### 3<体（健康・体力）>自他を大切に自ら体力の向上、健康づくりに取り組む

(1) 授業の充実を核に、体力向上の取り組みが関連付けられている。

<方策1> 体育の授業改善と各活動、遊びの関連付け、新校舎の有効活用、令和体操の実践

<取組指標> ①：運動量確保、教材を有効活用する体育学習、令和体操全学年継続実施  
②：安心な学習集団、過程を大切にした授業の意識  
③：体育授業と遊びの関連付け

<成果指標> 学校生活アンケート 運動の楽しさ

(2) 健康教育としての保健指導、食育指導が推進されている。

<方策2> 保健指導、食育等の共通実践と工夫改善、そのための学級での指導

<取組指標> ①：保健指導の指導計画の工夫改善  
②：食育の指導計画の工夫改善  
③：食育、保健指導の機会を生かした学級での指導

<成果指標> 学校生活アンケート 自分で健康づくりに努める

### 4<働き方>当事者意識をもって職務の効率化を進める

(1) 保護者、地域の学校理解、校務改善とワークライフバランスの意識が進んでいる。

<方策1> 職員室、事務室、管理室と連携した確実な庶務・事務、学習人材管理、支援者活用、学校地域連携、広報等

<取組指標> ①：庶務・教務・事務・広報の組織化とスリム化の一層の推進  
(最重点：会計事務)  
②：保護者アンケート、感想の活用、回収率維持  
③：計画的に年休を取得するための行事予定や会議設定

<成果指標> 教職員の在校時間の意識・様々な職種の教職員の一層の活用活躍

### 5<連携1（保幼小中）>令和小としての保幼小中連携推進

(1) テーマをもった五中校区の保幼小連携教育を令和小の特色として推進している。

<方策> 五中校区小中連携教育の維持継続、令和小関係保幼稚園との連携推進・情報交換

<取組指標> ①：関係保幼稚園との情報交換会の連続性  
②：五中校区の小中連携教育の取組の維持継続→テーマ「自己肯定感」継続  
③：保幼年長児の学校訪問、学校施設活用の日常化

<成果指標> 校区保幼稚園・PTAからの肯定的評価

## 6<連携2（地域、保護者連携）>地域に根ざした 開かれた学校づくりと連携教育の推進

（1）令和小学校学区の地域を生かした学習展開や地域の教育力の活用を維持継続する。地域、保護者のかかわりの意識が参観から、参加、そして参画への移行が進む。

<方策>「学校や地域のことを考える学習」の工夫改善、防災会等を生かした地域町会の理解、サポーター、ボランティア等の組織化や学校支援組織の編成

<取組指標>①「学校や地域のことを考える学習」を大いに意識し、ネーミングをする  
②サポーター、ボランティアの導入活用から組織化へ・町会の意識の活性化へ  
③校務分掌を生かしたこだま学級との交流の推進と計画化

<成果指標>学校生活アンケート 地域学習の楽しさ

「学校や地域のことを考える学習」を大いに意識～報償費も活用  
→大上段でなく、維持継続、日常化を！！

「学校や地域のことを考える学習」→ネーミングを推進

- ①地域や学校についての学習  
（近接学年交流、異学年交流、たてわり…あるいは留守の活用も）
- ②地域に出かけて、地域にふれる学習
- ③地域の施設や企業での学習
- ④地域の方や専門家等の外部人材（財）をゲストとした学習
- ⑤地域の学校や幼稚園、保育園、関係諸機関等と連携した学習
- ⑥地域や保護者の方が共に参加する学習（参観者も支援者・授業参加）  
（感想を求める・展示や発表にも感想やコメントを…） 等

EX. こだま：交流 歩行学習 地域赤十字ポッチャ みんなのぬまぼり  
1年：民生児童委員下校見守りお礼 学校たんけん 近隣幼保育園年長児訪問  
2年：ぎょしょく凶工 馬頭琴 町たんけん たきびの家 区民活動センター  
3年：旧校舎4方位 たきびの家 4つの町 地域商店街  
4年：地域祭礼 東京手描友禅 中野区清掃事務所 水再生センター 福祉GT  
5年：ぎょしょく社会水産業 森林ボランティア 体幹体軸体操  
6年：全校朝会あいさつ 地域法人会 交通安全の像 疎開経験の語りVTR  
全校：全校朝会、昼の放送等への外部人材参加 バイオリンコンサート 等

I 組織的な広報活動の推進と情報提供  
地域情報の入手と共有化・財産化

II 昨年度までの連携実績の維持継続

III 地域、保護者の学校支援組織活用  
（学校評議員・評価委員10名）

IV 保護者等へのボランティア登録募集  
（移動教室・校外学習引率支援者バンク）

V 関係諸機関等連携担当の設定と開発（実施有無にかかわらず関係・連携の維持）

<地域人材、GT等活用連絡先他一覧>

学校だより等通知送付・HP・情報配信システム等と連動

事務室・副校長補佐・SSS・EA把握対応  
共有フォルダ→R06\_教務

→R06\_地域連携・連携教育

→令和人凶鑑（学校支援・関係者）

→随時更新し共有化を進める